

ソフトウェア品質保証 責任者の会

第2期 第4回会合次第

2014年1月22日(水) 19:00~21:00
ソフトウェア品質保証責任者の会準備委員会

本日の内容

- **19:00～19:10 オリエンテーション**
前回例会の報告
日科技連からのお知らせ
- **19:10～20:10 講演(30分)+質疑応答(30分)**
「組織改善
～実験的アプローチを可能とするチーム作り～」
講師：細谷泰夫氏（三菱電機）
- **20:10～21:00**
今後の方向性検討と議論の深堀り
20:10 ～ 20:15：前回例会のまとめの報告
20:15 ～ 21:00：議論深堀
21:00 ～ 21:xx：各チーム報告

*** 終了後に懇親会を実施します。**

講演：組織改善

- テーマ：組織改善
～実験的アプローチを可能とするチーム作り～
- 講師：細谷泰夫氏（三菱電機）

Microsoft MVP
for
Visual Studio ALM



@Agile Conference Tokyo 2013

資料URL : <http://jasst.jp/symposium/jasst13hokkaido/pdf/S1.pdf>

前回例会報告

■ 第2期活動計画立案

- 活動テーマ検討
 - テーマの分類とグルーピング
 - テーマ案化
- 活動テーマ紹介と検討
- チーム分け
 - 活動したいテーマ毎に分かれて活動
- テーマの詳細化
 - ブレインストーミングによるキーワード抽出
 - キーワードのグルーピングと“つながり”の確認
- 希望講師検討
 - 活動に必要な情報入手に適切な方を選定（途中）

準備委員会
が事前準備

チーム活動

テーマ分類

いただいたテーマ案を
含まれるキーワードな
どで分類しました。

テーマ案	分類1	分類2	分類3
各社の品質保証部門の抱える課題共有や事例紹介をし、その内容を討論する。	大方針		
ソフトウェア品質保証担当者の育成とSQuBOKの活用 技術的側面 – 品質保証の勉強を1から始める –	育成 育成	学習 学習	
どのような組織（プロジェクト）では、どのような品質保証・品質管理をすべきか。	研究・調査	プロセス	テーラリング
さまざまなプロセスモデルに対するソフトウェア品質保証	研究・調査	プロセス	テーラリング
そもそもプロセスはソフトウェア品質に貢献しているのか？	研究・調査	プロセス	
ソフトウェア固有の品質保証法とは？ ハードウェアの“ばらつき制御”と異なるアプローチ	研究・調査	プロセス	
ソフトウェアの最適な品質テストの仕方（仮）	実務品質部門 とテスト部門 （組織論）	品証観点テス ト技術	テストプロセ スによる品質 保証
デザインレビューの効率的なやり方 フロントローディングの割に手法が確立していない	実務	レビュー技術	
調達品（OTS/受託）に対するソフトウェア品質保証	実務	プロセス	受入テスト
品質管理部門を持たない中小企業でも明日から出来る品質への取り組み	実務	プロセス	テーラリング の一形態
一個人でも出来る品質を向上させる方法	実務	プロセス	テーラリング の一形態
ソフトウェアのプロジェクト計画とは？ 「組織的な改善の視点」のもの	研究・調査	プロジェクト	
火を吹いているプロジェクトの火消事例	実務		

テーマ分類

グルーピングしました

テーマ案	分類1	分類2	分類3
各社の品質保証部門の抱える課題共有や事例紹介をし、その内容を討論する。			本会の活動方針
ソフトウェア品質保証担当者の育成とSQuBOKの活用 技術的側面 - 品質保証の勉強を1から始める -	育成	学習	育成 (教育) / 知識
どのような組織 (プロジェクト) では、どのような品質保証・品質管理をすべきか。	研究		<ul style="list-style-type: none"> プロセスモデル構築 テーラリング 具象化 <ul style="list-style-type: none"> →レビュー →テスト
さまざまなプロセスモデルに対するソフトウェア品質保証	研究		
そもそもプロセスはソフトウェア品質に貢献しているのか?	研究		
ソフトウェア固有の品質保証法とは? ハードウェアの"ばらつき制御"と異なるアプローチ	研究		
ソフトウェアの最適な品質テストの仕方 (仮)	実務		
デザインレビューの効率的なやり方 フロントローディングの割に手法が確立していない	実務		
調達品 (OTS/受託) に対するソフトウェア品質保証	実務	プロセス	受入テスト
品質管理部門を持たない中小企業でも明日から出来る品質への取り組み	実務		<ul style="list-style-type: none"> プロセスモデル実装 組織規模を意識したテーラリング
一個人でも出来る品質を向上させる方法	実務		
ソフトウェアのプロジェクト計画とは? 「組織的な改善の視点」のもの	研究		
火を吹いているプロジェクトの火消事例	実務		

テーマ分類

[基本的な考え方]
ソフトウェアの品質保証
はプロセスで行う

グループの関連を図示しました

品質モデル実装
組織視点のテーラリング
大組織 → 中小 → 個人

大組織
中小
個人

Not 小技集

品質モデル構築
各種モデルのテーラリング
→ 受入テスト (COTS)
→ 品証テストの実装

観点の
相違
類似



育成 (教育)
Ex. SQuBOK活用
理解しやすく体系化
応用力
ゴール設定と評価指標設定

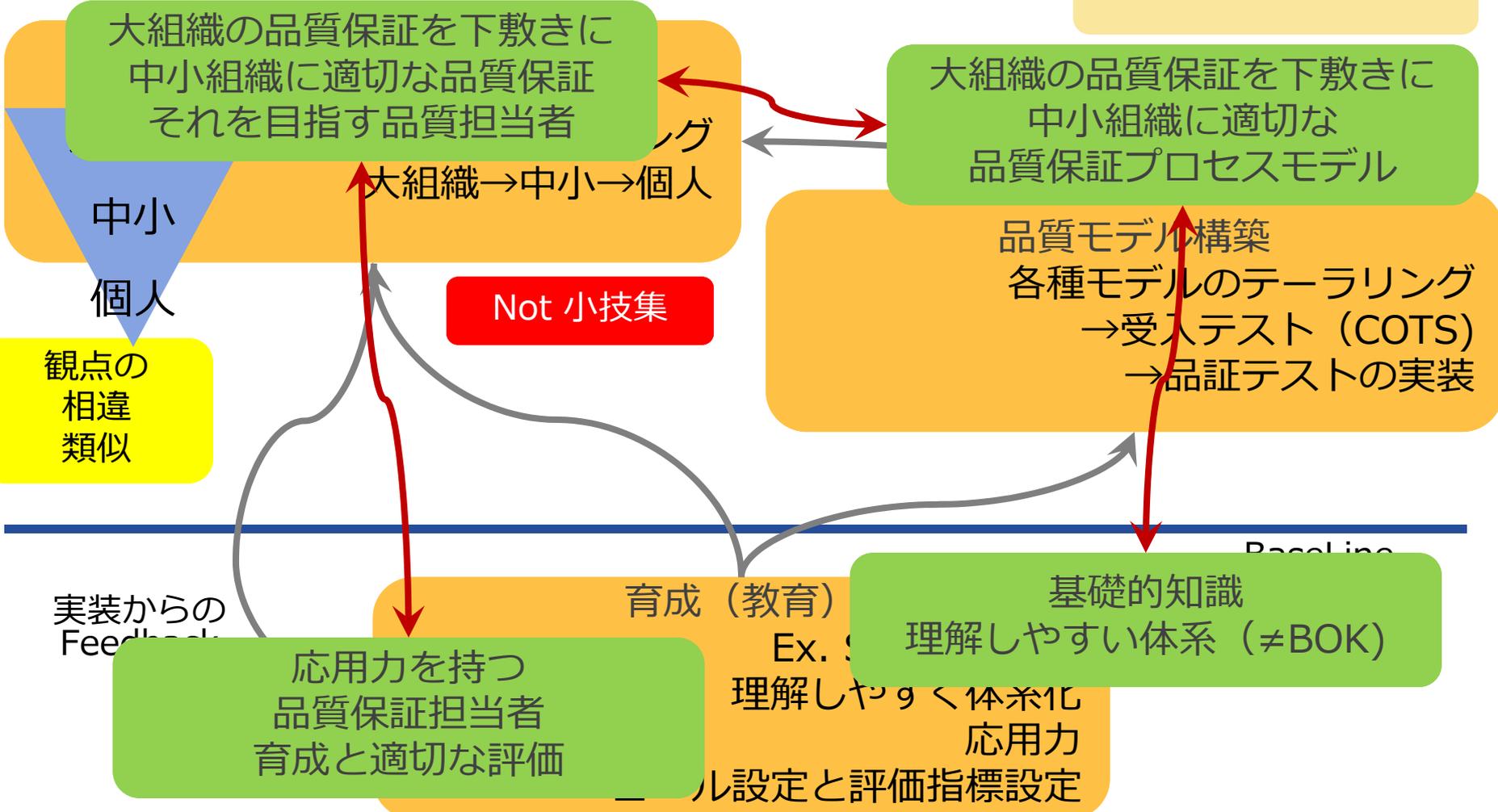
BaseLine
(全ての基本)

実装からの
Feedback

テーマ分類

[基本的な考え方]
ソフトウェアの品質保証
はプロセスで行う

目指す姿を投影しました



テーマ化

活動指標

大組織の品質保証を下敷きに
中小組織に適切な品質保証
それを目指す品質担当者

大組織 → 中小 → 個人

中小

個人

観点の
相違
類似

Not 小技集

活動テーマ案

大組織の品質保証を下敷きに
中小組織に適切な
品質保証プロセスモデル

品質モデル構築

各種モデルのテーラリング
→ 受入テスト (COTS)
→ 品証テストの実装

実装からの
Feedback

応用力を持つ
品質保証担当者
育成と適切な評価

育成 (教育)

Ex. S

理解しやすい体系化

応用力

ゴール設定と評価指標設定

基礎的知識
理解しやすい体系 (≠BOK)

Baseline

テーマ化

活動指標

大組織の品質保証を下敷きに
中小組織に適切な品質保証
それぞれが担う品質担当者

活動テーマ案

大組織の品質保証を下敷きに
中小組織に適切な

以下の2項目をテーマとして活動することになりました。

- 品質教育（人財育成）
- 開発プロセス（身の丈に合ったやりかた）

中
個
観点の
相違
類似

リング
(COTS)
の実装

実装からの
Feedback

育成（教育）

Ex. S

理解しやすい体系化

応用力

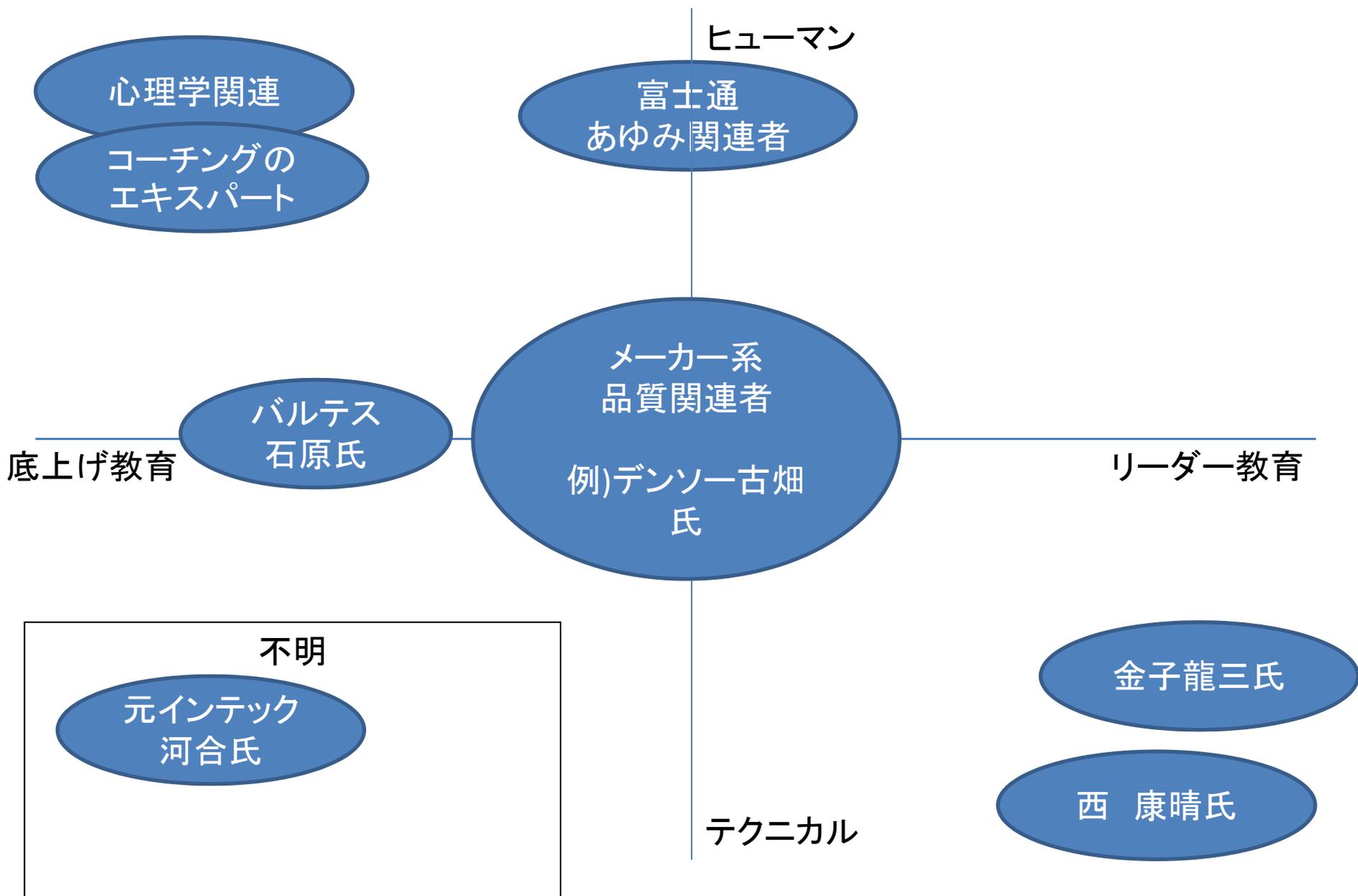
ル設定と評価指標設定

応用力を持つ
品質保証担当者
育成と適切な評価

基礎的知識
理解しやすい体系（≠BOK）

Baseline

講演者候補検討



開発プロセス(身の丈にあった開発プロセスの探求)

第二回は

「じゃあ、身の丈って」何なんだ？

「身の丈」は誰の目線？→開発側

「身の丈」をさまざまな角度から(もう少し整理が必要！)

誰の目線？→開発側

あるべき姿？or現状

顧客に「身の丈」を説明できるか？

他に置き換える言葉は無いのか？

「身の丈」は誰の目線？→開発側

→「**要求**」と定義できるのでは？

「品質」とは「顧客の要求を満たす度合い」とも言える 「

当たり前品質」と「魅力的品質」と「身の丈」との関係は？

チーム作業報告

■ 前回例会の報告

- 品質技術者の育て方(仮)
- 開発プロセス

■ チーム作業

- 活動の方向性の確認
- 議論の深堀
- 希望する講演テーマと講師の選定

■ 発表

- 報告10分、質疑応答 5分

次回以降の予定

詳細は追ってお知らせします

- 第5回定例会：
日時：2014年2月28日(金)
場所：中央電気倶楽部（ココ）
セミナー：
「デンソーにおける問題解決型リーダーの育成（仮）」
古畑慶次氏（デンソー技研センター）
- 第6回定例会 2014年3月15日(土) 13:00～17:00
- 第7回定例会 2014年4月
- 第8回定例会 2014年5月
- 第9回定例会 2014年6月
- 第10回定例会 2014年7月

原則として平日（水・金）の
19:00～

数か月ごとに土曜午後